

きらり

令和7年 7月

舞鶴市立倉梯小学校

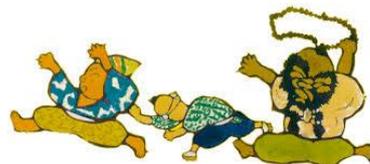
通級指導教室 64-0227



セリフを通して 掛け合いを味わう。

通級の時間には、絵本を使った指導を大切にしていますが、最近、「じごくのそうべえ」「へんなゆめ」「じゅげむ」「まんじゅうこわい」など、落語の絵本がブームになっています。通級を始めた頃から様々な絵本に触れ、担当者と一緒にやりとりを重ねる中で興味の幅を広げ、物語の展開を味わう力を豊かにしてきた子どもたちの姿を、大変うれしく感じています。

落語の絵本は、話し言葉がそのまま文字で表されています。誰のセリフなのか、顔の絵で視覚的に示されているものもあり、すぐに役割を分担して読み合うことができます。登場人物のセリフを通して、人と掛け合う面白さを楽しむことができます。自分ではない誰かになり、また、自分に戻って来る経験。「気がついたら、夢だった。」と現実に戻る経験。学年が大きくなり、様々な方向から物事をとらえる力が備わってきたからこそ味わうことができる面白さです。



「まんじゅうこわいっていうのは、どういう意味なのかと前からずっと気になっていた。そういうことやったんか!本当に怖いじゃなくて、美味しくてもっと食べたいから、わざと怖がるふりをしたってことか。」「地獄から出て、天国に行くということかと思ったけれど、生き返るってことだった。この次は、どうなるんだろう?」文字で書かれている通りのことだけでなく、その背景に込められた意味にまで、楽しみながら意識を向けることができます。「じごくのそうべえ」には続編がありますので、これからも、子どもたちと一緒に物語の世界を冒険したいと考えています。

少し話が変わりますが、中学年の男子児童がプレイルームでドッジボールをする時に、人気漫画のセリフを唱えて楽しんでいる様子がとても興味深いのです。以前からも「かめはめハァ〜!」「〇〇の呼吸、〇ノ型!」など様々にあり、お腹の底から声を発してボールを投げることで心身をすっきりとさせる様子を見守ってきました。今、人気のセリフは「領域展開ガイカンテッチセン!」というように、なかなか難しい。「あれ、続きどうやったっけ?」時折、友達に尋ね確認しながら、熱心に繰り返しています。「相手にボールを当てなければ、ドッジボールじゃない。」から解放され、友達と一緒に言葉を唱え、思い切りボールを投げることでそのものを全力で楽しみ、これまで以上に生き生きとした表情で活動しているように感じます。



こうした絵本の学習やドッジボールにおける子どもたちの様子を目の当たりにすると、間違えないように文を読むとか正しく言葉を言うことはもちろん大切なのですが、「自由な心で思い切り声を上げる。」「難しくてかっこいいセリフを唱える。」「自分ではないヒーローになり切ってみる。」といったことが、子どもたちの心の健康や成長にとっていかに大切なことであるか、改めて考えさせられます。

保護者参観について

お子さんの通級時間であれば、いつでも参観していただけます。
学級の授業や行事のために、指導時間に変更になることもありますので、参観される場合には事前に連絡をお願いします。

7月 1日 (火) 午後

7月 4日 (金) 午後

7月15日 (火) 午前・午後

研修会のため、
指導は
お休みです。

